

6. 研究業績

6. 1 著書 (名前、著書題目、著者等名、発行所・発表雑誌等の名称、巻・号・ページ、発行または発表年月 など)

<環境研究部門>

中西 敬

- (1) Jブルークレジット(試行)認証申請の手引き(Ver. 2.3)、ジャパンプルーエコノミー技術研究組合、編集委員、2023年8月

西田 貴明

- (1) 片山 昇・西田 貴明・山尾 僚・坂田 ゆず：汎用機器を用いた総フェノールおよび縮合タンニンの定量方法、植物たちの護身術：被食防御の生態学(種生物学会編、坂田 ゆず・角田 智詞 責任編集)・文一総合出版、pp. 243-248、2024年2月

<危機管理研究部門>

金井 純子

- (1) 武田 浩太郎・鶴田 宏樹・祇園 景子・石田 祐・三上 淳・松下 正和・大石 哲・大路 剛・友淵 貴之・加藤 知愛・阿部 晃成・金井 純子・北岡 和義・齊藤 誠一：ソーシャルイノベーションの教科書ー災害に強いレジリエント社会を創るー、株式会社ミネルバ書房、2024年3月

6. 2 論文 (名前、題目、著者等名、発行所・発表雑誌等の名称、巻・号・ページ、発行または発表年月 など)

<防災研究部門>

馬場 俊孝

- (1) Yokoi, H., Baba, T., Lin, Z., Minami, T., Kamiya, M., Naitoh, A., & Toh, H. (2023). Simultaneous Inversion of Ocean Bottom Pressure and Electromagnetic Tsunami Records for the 2009 Samoa Earthquake. *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 128(6), e2023JB026956. <https://doi.org/10.1029/2023JB026956>
- (2) Pranantyo, I.R., Cipta, A., Shiddiqi, H.A., Baba, T., Imai, K. (2023). Source Reconstruction of the 1969 Western Sulawesi, Indonesia, Earthquake and Tsunami, *Pure Appl. Geophys.* 180, 1765-1783. <https://doi.org/10.1007/s00024-022-03064-2>

蔣 景彩

- (1) Tsunataka Furuya, Jing-Cai Jiang: Estimation of slip surfaces using the results of groundwater logging in fracture zone landslides, *Proceedings of The XIV Congress of the International Association for Engineering Geology and the Environment.*
- (2) 蔣 景彩・中野 晋・金井 純子・樫本 誠一：久留米市田主丸町竹野地区の土石流被害と土砂災害警戒区域の課題、令和5年自然災害フォーラム論文集、pp. 43-48、2023年12月
- (3) 土山 祐司・中野 晋・蔣 景彩・圓谷 政貴：ANNを用いた六角川流域浸水予測システムの構築、令和5年自然災害フォーラム論文集、pp. 59-66、2023年12月

西山 賢一

- (1) 西山 賢一：徳島市の地形・地質、月刊地図中心、通巻 605 号、pp. 6-8、2023 年 2 月
- (2) 西山 賢一：石屋洞穴周辺の地形・地質的特徴、石屋洞穴、長崎県埋蔵文化財センター調査報告書、第 47 集、pp. 59-63、2023 年 3 月
- (3) 西山 賢一・中尾 賢一・辻野 泰之・元山 茂樹・石田 啓祐：小松島市の地質と地形、阿波学会紀要、第 64 号、pp. 1-10、2023 年 3 月

<災害医療研究部門>

西村 明儒

- (1) A case of fatal multi-organ inflammation following COVID-19 vaccination, H. Nushida, A. Ito, H. Kurata, H. Umemoto, I. Tokunaga, H. Iseki, A. Nishimura, Legal Medicine, 63・1-4, July 2023. Available online 20 March 2023.

岡久 玲子

- (2) 上白川 沙織・多田 美由貴・岡久 玲子・松下 恭子：乳幼児をもつ母親の防災意識の実態：防災セミナー受講前後の比較、The Journal of Nursing Investigation、2023.05.01（J-STAGE にて早期公開）DOI: https://doi.org/10.32273/jni.JNI_021_001

松下 恭子

- (1) 細井 玲・岡久 玲子・松下 恭子・多田 美由貴・上白川 沙織：行政保健師における災害発生時に向けた平時からの連携ニーズ、第 29 回日本災害医学会総会・学術集会 プログラム・抄録集、Vol. 28、503、2024 年 2 月 24 日
- (2) 内田 莉子・石飛 咲良・大久保 佳音・上白川 沙織・松下 恭子：在宅で暮らす聴覚障害者の防災対策と課題についての文献検討、第 29 回日本災害医学会総会・学術集会 プログラム・抄録集、Vol. 28、441、2024 年 2 月 22 日

多田 美由貴

- (1) 細井 玲・岡久 玲子・松下 恭子・多田 美由貴・上白川 沙織：行政保健師における災害発生時に向けた平時からの連携ニーズ、第 29 回日本災害医学会総会・学術集会 プログラム・抄録集、Vol. 28、503、2024 年 2 月 24 日

上白川 沙織

- (1) 細井 玲・岡久 玲子・松下 恭子・多田 美由貴・上白川 沙織：行政保健師における災害発生時に向けた平時からの連携ニーズ、第 29 回日本災害医学会総会・学術集会 プログラム・抄録集、Vol. 28、503、2024 年 2 月 24 日
- (2) 内田 莉子・石飛 咲良・大久保 佳音・上白川 沙織・松下 恭子：在宅で暮らす聴覚障害者の防災対策と課題についての文献検討、第 29 回日本災害医学会総会・学術集会 プログラム・抄録集、Vol. 28、441、2024 年 2 月 22 日

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 竹村 紫苑・今井 洋太・鎌田 磨人：市民参加型モニタリングを支えるデータベースの構造と機能—沖縄本島におけるマングローブ林の保全活動から、システム/制御/情報、67:147-152、2023年4月
- (2) 日本生態学会生態系管理専門委員会調査提言部会・西田 貴明・岩崎 雄一・大澤 隆文・小笠原 奨悟・鎌田 磨人・佐々木 章晴・高川 晋一・高村 典子・中村 太士・中静 透・西廣 淳・古田 尚也・松田 裕之・吉田 丈人：自然の賢明な活用を目指して：グリーンインフラ・NbSの推進における生態学的視点、保全生態学研究、J-STAGE Advance published date:April 30,2023、<https://doi.org/10.18960/hozen.2211>、2023年
- (3) 鎌田 安里紗・鎌田 磨人・伊庭 崇：地域生態系の協働管理・活用に関わる活動を促進するためのパターン・ランゲージ—広島県北広島町での協働の読解、景観生態学 28: 49-67、2023年
- (4) 丹羽 英之・鎌田 磨人：公園に関係する人々の多様な要望を森づくりにつなげるための新しい森林ゾーニング方法の提案、景観生態学 28:125-136、2023年
- (5) 鎌田 磨人：荒廃進む里山の資源を見直してみる—一里山はこれからの社会の試金石、望星、2023年12月号: 16-23、(インタビュー記事)、2023年

上月 康則

- (1) 大谷 壮介・中西 美桜・中西 敬・斉藤 祐一・上月 康則：兵庫運河の海面の二酸化炭素フラックスと一次生産者による炭素固定、土木学会論文集 B2(海岸工学)、Vol.79、No.2、2023年
- (2) 神野 威・上月 康則・大谷 壮介・山中 亮一・松重 摩耶：吉野川汽水域の緩傾斜護岸における日射と潮間帯生物の分布の関係について、土木学会論文集 B2(海岸工学)、Vol.79、No.2、2023年

山中 亮一

- (1) 神野 威・上月 康則・大谷 壮介・山中 亮一・松重 摩耶：吉野川汽水域の緩傾斜護岸における日射と潮間帯生物の分布の関係について、土木学会論文集 B2(海岸工学)、Vol.79、No.2、2023年
- (2) Yo Fukutani, Tomohiro Yasuda, Ryoichi Yamanaka : Efficient probabilistic prediction of tsunami inundation considering random tsunami sources and the failure probability of seawalls, Stochastic Environmental Research and Risk Assessment, Volume 37, pages 2053-2068, 2023.

中西 敬

- (1) 大西 晶・湯浅 恭史・上月 康則・中西 敬・松重 摩耶：災害発生時における宿泊施設の活用事例とその課題に関する考察、土木学会論文集、Vol.79、No.24、23-24017、2023年
- (2) 大谷 壮介・中西 美桜・中西 敬・斉藤 祐一・上月 康則：兵庫運河の海面の二酸化炭素フラックスと一次生産者による炭素固定、土木学会論文集、Vol.79、No.17、23-17146、2023年
- (3) 大谷 壮介・中西 敬・斉藤 祐一・上月 康則：都市運河に造成された人工干潟に飛来する鳥類の分布特性の定量的評価、土木学会論文集、Vol.79、No.18、23-18098、2023年

古川 恵太

- (1) Effects of sea-level rise on blue carbon stocks of mangrove ecosystems: insights from Pohnpei Island, Federated States of Micronesia, Fujimoto, Kiyoshi, Furukawa, Keita, Ono, Kenji, Watanabe, Shin, Eperiam, Eugene, Carbon Footprints, Vol.2, No.3, 19p. 2023年8月
- (2) 古川 恵太: 東京湾環境一斉調査 ―官民連携の参加型調査の試み―、日本水環境学会・水環境学会誌、第46巻・第9号・pp. 322-326、2023年9月
- (3) A Tidal Flat Adjacent to a Fringe Mangrove Forest Mitigates pCO₂ Increases and Enhances Lateral Export of Dissolved Carbon, Nakamura, Wataru, Wang, Kangnian, Ono, Kenji, Endo, Toru, Watanabe, Shin, Mori, Taiki, Furukawa, Keita, Fujimoto, Kiyoshi, Sasaki, Jun, Journal of Marine Science and Engineering, Vol.11, No.12, 2356, 2023年12月

西田 貴明

- (1) 西田 貴明・吉田 丈人: 生態系を活用した防災・減災の推進に向けた水災保険制度の貢献可能性、環境情報科学、52(2)、78-87、2023年
- (2) 日本生態学会生態系管理専門委員会調査提言部会・西田 貴明・岩崎 雄一・大澤 隆文・小笠原 奨悟・鎌田 磨人・佐々木 章晴・高川 晋一・高村 典子・中村 太士・中静 透・西廣 淳・古田 尚也・松田 裕之・吉田 丈人: 自然の賢明な活用を目指して、グリーンインフラ・NbSの推進における生態学的視点、保全生態学研究、J-STAGE Advance published date: April30, 2023, <https://doi.org/10.18960/hozen.2211>

大谷 壮介

- (1) Sosuke Otani, Kazuyuki Higashi, Kengo Kurata, Yasunori Kozuki: Estimating the amount of food ingested by the ocy podid crab *Macrophthalmus japonicus* via feeding pellets, Estuarine, Coastal and Shelf Science, 285, 108299, 2023.
- (2) 大谷 壮介・中西 敬・斉藤 祐一・上月 康則: 都市運河に造成された人工干潟に飛来する鳥類の分布特性の定量的評価、土木学会論文集、Vol.79、No.18、23-18098、2023年
- (3) 大谷 壮介・東 和之・上月 康則: 大阪湾の都市沿岸部における干潟堆積有機物の分解特性、土木学会論文集、Vol.79、No.18、23-18104、2023年
- (4) 大谷 壮介・中西 美桜・中西 敬・斉藤 祐一・上月 康則: 兵庫運河の海面の二酸化炭素フラックスと一次生産者による炭素固定、Vol.79、No.17、23-17146、2023年
- (5) 大谷 壮介・山里 輝: 汽水域湿地帯における連続観測による大気と水面の二酸化炭素フラックスの変動特性、Vol.79、No.17、23-17147、2023年
- (6) 神野 威・上月 康則・大谷 壮介・山中 亮一・松重 摩耶: 吉野川汽水域の緩傾斜護岸における日射と潮間帯生物の分布の関係について、Vol.79、No.17、23-17151、2023年

<危機管理研究部門>

小川 宏樹

- (1) Hiroki Ogawa, Characteristics of Urban Space in David Sim's Soft City Theory, Proceedings of 2023 International Conference of Asian-Pacific Planning Societies, pp. 1584-1588, Danan, Vietnam, 2023年8月18日
- (2) 水橋 時生・小川 宏樹・白山 敦子・金井 純子：土地利用計画を援用した空き家解体補助制度に関する研究、日本建築学会技術報告集、Vol. 29、No. 73、pp. 1542-1547、2023年10月
- (3) 櫻井 祥之・小川 宏樹：津波浸水想定区域を考慮した居住誘導区域の指定に関する一考察 -和歌山県内5市町を対象としたケーススタディ-、都市計画論文集、Vol. 58、No. 3、pp. 1431-1438、2023年10月

湯浅 恭史

- (1) 大西 晶・湯浅 恭史・上月 康則・中西 敬・松重 摩耶：災害発生時における宿泊施設の活用事例とその課題に関する考察、土木学会論文集、Vol. 79、No. 24、23-24017、2023年
- (2) 湯浅 恭史・宮地 武彦・蔣 景彩・上月 康則：令和4年台風15号による断水時の透析医療機関等の対応と今後の課題、土木学会論文集、Vol. 79、No. 24、23-24015、2023年

金井 純子

- (1) 金井 純子・中野 晋・北村 晃寿・樫本 誠一・西村 実穂：令和4年台風第15号による静岡市清水区の高齢者施設における浸水被害と夜間の緊急参集の課題、河川技術論文集、Vol. 29、581-586、2023年

中野 晋

- (1) 中野 晋・西村 実穂：令和4年の豪雨による保育施設の被災と保育再開、日本保育学会、日本保育学会第76回大会発表論文集、K-C-7-02、2023年5月
- (2) 西村 実穂・中野 晋：令和2年7月豪雨により被災した認定こども園の復旧過程の特徴、日本保育学会、日本保育学会第76回大会発表論文集、K-C-7-03、2023年5月
- (3) 金井 純子・中野 晋・北村 晃寿・樫本 誠一・西村 実穂：令和4年台風第15号による静岡市清水区の高齢者施設における浸水被害と夜間の緊急参集の課題、河川技術論文集、Vol. 29、pp. 581-586、2023年6月
- (4) 西村 実穂・中野 晋：九州北部で発生した豪雨災害により被災した保育施設の避難と災害対応における課題、自然災害科学、Vol. 42、特別号、pp. 59-74、2023年10月
- (5) 中野 晋・西村 実穂：令和4年8月3日からの大雨による新潟県荒川流域の浸水被害と保育施設の災害対応、令和5年度自然災害フォーラム論文集、pp. 1-8、2023年12月
- (6) 金井 純子・中野 晋・西村 実穂：令和4年8月豪雨による姥堂川の内水氾濫と高齢者施設における夜間避難の特徴、令和5年度自然災害フォーラム論文集、pp. 9-14、2023年12月
- (7) 西村 実穂・中野 晋：令和4年8月3日からの大雨による小松市内の保育施設での避難行動と保育継続、令和5年度自然災害フォーラム論文集、pp. 15-24、2023年12月

- (8) 蔣 景彩・中野 晋・金井 純子・樫本 誠一：久留米市田主丸町竹野地区の土石流被害と土砂災害警戒区域の課題、令和5年度自然災害フォーラム論文集、pp. 43-48、2023年12月
- (9) 土山 祐司・中野 晋・蔣 景彩・圓谷 政貴：ANNを用いた六角川流域浸水予測システムの構築、令和5年度自然災害フォーラム論文集、pp. 59-66、2023年12月
- (10) 中野 晋・西村 実穂：令和4年8月9日からの豪雨による青森県鯉ヶ沢町の保育園での避難行動と保育継続、土木学会論文集、Vol. 79、No. 24、ID：23-24008、pp. 1-10、2023年12月

松重 摩耶

- (1) 松重 摩耶・湯浅 恭史・上月 康則・山瀬 浩幸・大森 理佐：国立大学の河川氾濫による浸水リスクとその対策-徳島大学への教訓とするために-、徳島大学人と地域共創センター紀要、第33巻、pp. 19~29、2024年

6. 3 研究発表等

(名前, 発表題目, 著者等名, 発行所・発表雑誌等の名称, 巻・号・ページ, 発行または発表年月 など)

<防災研究部門>

馬場 俊孝

- (1) Masato Kamiya, Toshitaka Baba, Tsunami Flow Depth Prediction Applying Ocean-bottom Pressure Data to Machine Learning Technique, AOGS2023, IG16-A003, 2023.
- (2) Naoko Shinmoto, Toshitaka Baba, Long-lasting Tsunami Simulations for Appropriate Withdrawal of Tsunami Warning, AOGS2023,
- (3) Toshitaka Baba, Hiiro Yokoi, Zhiheng Lin, Takuto Minami, Hiroaki Toh, Finite Fault Model of the 2009 Samoa Earthquake Estimated from Simultaneous Inversion of Ocean-bottom Pressure and Electromagnetic Tsunami Records, AOGS2023, OS06-A015, 2023.
- (4) Yuta Niimi, Toshitaka Baba, Tsunami Simulation of River-run-up Using High-resolution Topographic Data, AOGS2023, OS06-A019, 2023.
- (5) Rena Minami, Toshitaka Baba, Fire Spread Areas and Fire-stopping Points During the 1854 Ansei Nankai Earthquake, Japan, AOGS2023, SE03-A003, 2023.
- (6) Masato Kamiya, Toshitaka Baba, Tsunami Source of the 1946 Showa Nankai Earthquake Estimated by Nonlinear Tsunami Inversion Algorithm, AOGS2023, SE03-A004, 2023.
- (7) Akino Naitoh, Toshitaka Baba, Comparison of GNSS and InSAR Measurements for Crustal Deformation Caused by the 2021 Alaska Earthquake, AOGS2023, SE10-A004, 2023.

蔣 景彩

- (1) 蔣 景彩・中野 晋・白山 敦子・樫本 誠一：令和5年奥能登地震による地盤・土木構造物の被害、第43回土木学会地震工学研究発表会(2023年度)、土木学会地震工学委員会、2023年9月7・8日
- (2) 蔣 景彩・上月 康則・中野 晋・樫本 誠一：山間部温泉観光地における豪雨時災害リスクの再考、

第 42 回日本自然災害学会学術講演会、2023 年 9 月 17・18 日

- (3) Jing-Cai Jiang: Estimation of slip surfaces using the results of groundwater logging in fracture zone landslides, The XIV Congress of the International Association for Engineering Geology and the Environment, Chengdu, China, Sep. 21-26, 2023
- (4) 蔣 景彩・中野 晋・金井 純子・樫本 誠一：久留米市田主丸町竹野地区の土石流被害と土砂災害警戒区域の課題、令和 5 年自然災害フォーラム、2023 年 12 月
- (5) 蔣 景彩・中野 晋・金井 純子：過去の事例から学ぶ事前浸水防止対策、第 29 回日本災害医学会総会・学術集会、京都、2024 年 2 月

西山 賢一

- (1) 西山 賢一：日本応用地質学会中国四国支部・土砂災害の疑問 55 出版記念講習会、講師、中国四国地方の土砂災害の歴史と自然災害伝承碑、2023 年 5 月
- (2) 西山 賢一・露口 耕治・大矢 基弘・佐竹 一希・川本 真由美：愛媛県宇和島市に分布する崩壊堆積物に含まれる古土壌の 14C 年代、日本地質学会第 130 年学術大会予稿集、2023 年 9 月（京都大学）
- (3) 羽田 裕貴・中谷 是崇・水野 清秀・納谷 友規・中島 礼・西山 賢一：徳島平野沿岸部における地下第四系層序と堆積環境、日本地質学会第 130 年学術大会予稿集、2023 年 9 月（京都大学）
- (4) 西山 賢一：南海トラフ巨大地震に伴う津波の自然災害伝承碑とその活用、日本応用地質学会令和 5 年度研究発表会講演論文集、2023 年 10 月（秋田市）
- (5) 西山 賢一：徳島県三好市における土砂災害の歴史、令和 5 年度全国治山林道協会会長会議講演、2023 年 10 月（徳島市）
- (6) 西山 賢一：中国四国地方における自然災害伝承碑の分布とその活用、日本応用地質学会中国四国支部設立 30 周年記念講演、2023 年 10 月（広島市）

青矢 睦月

- (1) Yukinojo Koyama, Simon Wallis, Takayoshi Nagaya and Mutsuki Aoya, Stress distribution in a subduction channel associated with rapid subduction: evidence from quartz piezometry applied to the Sanbagawa subduction-type metamorphic belt, Japan Geoscience Union (JpGU) meeting, 2023 年 5 月 25 日
- (2) 岡村 知樹・中村 大輔・青矢 睦月：東五良津岩体のザクロ石グラニュライトの変成温度圧力条件（発表者：中村 大輔）、日本地質学会第 130 年学術大会、2023 年 9 月 18 日
- (3) 金木 俊也・瀬瀬 佑衣・青矢 睦月・中村 佳博・Wallis Simon：炭質物ラマンスペクトルから最高変成温度を推定する際のピークフィッティングの自動化：Part 2、日本地質学会第 130 年学術大会、2023 年 9 月 18 日
- (4) 小山 雪乃丞・ウォリス サイモン・永治 方敬・青矢 睦月：沈み込み境界の深部スロー地震発生領域における最大剪断応力分布とその時間変化：西南日本三波川沈み込み帯の例、日本地質学会第 130 年学術大会、2023 年 9 月 18 日

<災害医療研究部門>

西村 明儒

- (1) 西村 明儒・伊藤 明日香・倉田 浩充・梅本 ひとみ・徳永 逸夫・井関 博文・主田 英之：COVID-19 ワクチン接種 2 日後に死亡した 1 剖検例、日本法医学会総会、小田原、6 月 7～9 日 2023 年
- (2) 伊藤 明日香・倉田 浩充・主田 英之・徳永 逸夫・梅本 ひとみ・井関 博文・西村 明儒：交通事故による遅発性 S 状結腸穿孔の 1 剖検例、日本法医学会総会、小田原、6 月 7～9 日 2023 年
- (3) 西村 明儒・伊藤 明日香・倉田 浩充・梅本 ひとみ・徳永 逸夫・井関 博文・主田 英之：新型コロナワクチン接種 2 日後に死亡した法医剖検例、第 267 回徳島医学会学術集会、8 月 20 日 2023 年

岡久 玲子

- (1) 細井 玲・岡久 玲子・松下 恭子・多田 美由貴・上白川 沙織：行政保健師における災害発生時に向けた平時からの連携ニーズ、第 29 回日本災害医学会総会・学術集会 プログラム・抄録集、Vol. 28、503、2024 年 2 月 24 日

松下 恭子

- (1) 細井 玲・岡久 玲子・松下 恭子・多田 美由貴・上白川 沙織：行政保健師における災害発生時に向けた平時からの連携ニーズ、第 29 回日本災害医学会総会・学術集会 プログラム・抄録集、Vol. 28、503、2024 年 2 月 24 日
- (2) 内田 莉子・石飛 咲良・大久保 佳音・上白川 沙織・松下 恭子：在宅で暮らす聴覚障害者の防災対策と課題についての文献検討、第 29 回日本災害医学会総会・学術集会 プログラム・抄録集、Vol. 28、441、2024 年 2 月 22 日

多田 美由紀

- (1) 細井 玲・岡久 玲子・松下 恭子・多田 美由貴・上白川 沙織：行政保健師における災害発生時に向けた平時からの連携ニーズ、第 29 回日本災害医学会総会・学術集会 プログラム・抄録集、Vol. 28、503、2024 年 2 月 24 日

上白川 沙織

- (1) 細井 玲・岡久 玲子・松下 恭子・多田 美由貴・上白川 沙織：行政保健師における災害発生時に向けた平時からの連携ニーズ、第 29 回日本災害医学会総会・学術集会 プログラム・抄録集、Vol. 28、503、2024 年 2 月 24 日
- (2) 内田 莉子・石飛 咲良・大久保 佳音・上白川 沙織・松下 恭子：在宅で暮らす聴覚障害者の防災対策と課題についての文献検討、第 29 回日本災害医学会総会・学術集会 プログラム・抄録集、Vol. 28、441、2024 年 2 月 22 日

高野 栄之

- (1) 高野 栄之：口腔内所見解析 AI の災害時身元識別や歯科健診への応用、歯科人工知能研究会、2023 年 7 月

<環境研究部門>

鎌田 磨人

- (1) 鎌田 磨人・貴田 凧海子・西岡 優佑・中野 昭雄：三橋弘宗徳島県板野町・上板町におけるクビアカツヤカミキリによるモモ被害の拡大要因推定、第33回日本景観生態学会大会（淡路市）、2023年5月27日
- (2) 小川 みどり・鎌田 磨人：シカ食害が進む剣山山頂周辺の植生の保全・回復手法の検討、第33回日本景観生態学会大会（淡路市）、2023年5月27日
- (3) 森 定伸・鎌田 磨人：瀬戸内海島嶼の景観形成に関わる人の空間選択とその地質・地形的基盤—小豆島と周防大島の比較から、第33回日本景観生態学会大会（淡路市）、2023年5月27日
- (4) 岩佐 有記・鎌田 磨人：沖縄における世界自然遺産推進共同企業体の成立要因及び継続の仕組み、第33回日本景観生態学会大会（淡路市）、2023年5月27日
- (5) 長谷川 逸人・朝波 史香・須藤 朋美・伊東 啓太郎・鎌田 磨人：地域計画と連動した環境保全活動におけるガバナンス形成過程の比較—福岡県福津市における海岸マツ林と里山林を対象として、第33回日本景観生態学会大会（淡路市）、2023年5月27日
- (6) 朝波 史香・鎌田 磨人：徳島県におけるジビエ活用のためのローカルガバナンス、第33回日本景観生態学会大会（淡路市）、2023年5月27日
- (7) 戴 帰航・小川 みどり・鎌田 磨人：剣山系尾根上の草原における植生遷移に及ぼすシカ食害の影響、第33回日本景観生態学会大会（淡路市）、2023年5月27日
- (8) Kamada M., Ito K. (Organizer) : Bottom-up Approaches for Nature Positive – The Way of Co-Design and Co-Research. 11th IALE World Congress (Nairobi, Kenya), 2023年7月10日
- (9) Asanami F. Tomari K. Kamada M : Funding mechanism for supporting small and medium-sized companies to join ecosystem conservation in local cities in Japan. 11th IALE World Congress (Nairobi, Kenya), 2023年7月11日
- (10) Kamada M : Mutual change of *Satoyama* landscape and human utilization. Seminar at University of South-Eastern Norway, Sports and Education Sciences, Campus Nottoden – Green Environments for Play and Learning –A Joint Perspective in Japan and Norway (Nottoden, Norway), 2023年9月11日
- (11) Morita R, Sakamoto M, Kamada M : Project cycle management (PCM) workshop for conservation of the Shikoku Asiatic Bear Population. ICLEE2023 (Jeju, South Korea), 2023年11月29日
- (12) Dai G, Ogawa M, Kamada M : Effect of shika-deer feeding on vegetation succession at grasslands on the Tsurugi Mountains ridge, Shikoku, Japan. (Jeju, South Korea), 2023年11月29日

上月 康則

- (1) 酒井 孟・上月 康則・堀江 美穂・青木 信利・斎藤 稔・秋山 哲也：急勾配の小河川魚道の構造に関する実験的考察、土木学会四国支部技術研究発表会、2023年5月27日、香川大学
- (2) 福森 太一・上月 康則・本原 将吾・山中 亮一・松尾 優輝・松重 摩耶：貧酸素環境下での空隙の位置とハゼ科チヂブの行動に関する室内実験、土木学会四国支部技術研究発表会、2023年5月27日

日、香川大学

- (3) 尾幡 厚志郎・山中 亮一・村瀬 智紀・原田 怜央菜・小川 翔・上月 康則・松重 摩耶・本橋 佑季・鮎川 和泰：尼崎運河における沿岸透明度の変動要因について、土木学会四国支部技術研究発表会、2023年5月27日、香川大学
- (4) 竹内 隆太郎・山中 亮一・原田 怜央菜・尾幡 厚志郎・村瀬 智紀・小川 翔・松重 摩耶・上月 康則・鮎川 和泰・大坪 真樹・本橋 佑季：尼崎運河での底質の変動特性とその要因について、土木学会四国支部技術研究発表会、2023年5月27日、香川大学
- (5) 松尾 優輝・上月 康則・本原 将吾・山中 亮一・村瀬 智紀・松重 摩耶・鮎川 和泰・大坪 真樹・赤崎 健一：尼崎運河での付着性二枚貝の鉛直分布と水質との関係について、土木学会四国支部技術研究発表会、2023年5月27日、香川大学
- (6) 小川 翔・山中 亮一・森田 椋也・高田 友美・鮎川 和泰・村瀬 智紀・原田 怜央菜・尾幡 厚志郎・本原 将吾・松重 摩耶・上月 康則：神山町水質浄化池の環境特性と維持管理方策について、土木学会四国支部技術研究発表会、2023年5月27日、香川大学
- (7) 吉原 祥・山中 亮一・中村 成・藤原 奈々・瀧野 萌・上月 康則・松重 摩耶・岩村 俊平：サンゴ北上に対する行政対応と社会意識について、土木学会四国支部技術研究発表会、2023年5月27日、香川大学
- (8) 本原 将吾・上月 康則・山中 亮一・赤崎 健一・松尾 優輝・福森 太一・中岡 禎雄・松重 摩耶：垂下式漁礁のヨシ下方へのハゼ科チチブの蝟集行動について、日本沿岸域学会、2023年7月、新潟大学
- (9) 福森 太一・上月 康則・山中 亮一・松重 摩耶・本原 将吾・松尾 優輝・赤崎 健一・中岡 禎雄：ヨシ下方の空隙を有する魚礁周辺でのハゼ科チチブの行動について、瀬戸内海研究フォーラム、2023年8月、山口大学
- (10) 上月 康則・河野 有咲・伊藤 健哉・松重 摩耶・松家 茉莉子・山中 亮一：東日本大震災後の連続災害と在宅被災者の生活再建困難との関係について、災害復興学会、2023年12月、常葉大学
- (11) 松重 摩耶・上月 康則・山中 亮一：海辺の環境教育と防災教育について、～豊かな瀬戸内海の実現に向けて～、環境教育学会関西支部、2024年2月、和歌山県

渡辺 公次郎

- (1) 眞継 和歌乃・渡辺 公次郎：知的障害者が地域で自立するための地域コミュニティに関する研究、日本建築学会四国支部研究報告集、No. 23、pp. 81-82、2023年5月
- (2) 菊池 泰雅・渡辺 公次郎：徳島市中心市街地における街路網と周辺建物特性からみたオープンスペースの評価、日本建築学会四国支部研究報告集、No. 23、pp. 79-80、2023年5月
- (3) 渡辺 公次郎：福島原発災害から見た今後の防災地域づくりに関する基礎的検討、日本建築学会四国支部研究報告集、No. 23、pp. 83-84、2023年5月
- (4) 坂東 武・渡辺 公次郎：徳島東部都市圏における都市活力の停滞と市街地整備の関連に関する研究、土木学会四国支部第29回技術研究発表会梗概集、jsce7-017-2023、2023年5月
- (5) 坂東 武・渡辺 公次郎：都市活力の停滞と市街地整備の関連に関する研究、土木計画学研究・講演集 Vol. 67、B05-1、2023年6月

- (6) 渡辺 公次郎：徳島都市圏における洪水被害額を用いた災害リスクの評価に関する研究、日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1、pp.1125-1126、2023 年 9 月
- (7) Kojiro WATANABE and Kui Zhou: A Study on the Disaster Risk Evaluation by using an Economic Losses caused by Flooding in Tokushima Urban Area, Proceedings of the 13th International Symposium on City Planning and Environmental Management in Asian Countries, 475-479, Chengdu, 2023 年 10 月
- (8) 渡辺 公次郎・今川 湧太：原子力発電所立地地域の安全性に配慮した都市計画のあり方に関する研究、第 17 回四国 GIS シンポジウム、2024 年 3 月
- (9) 尾形 碧・渡辺 公次郎：エリアリノベーションによる地方中心市街地の都市再生に関する研究、日本建築学会四国支部研究報告集 24、pp.53-54、No. 24、2024 年 3 月
- (10) 玉有 朋子・渡辺 公次郎：認知症の人にやさしいまちの実現に向けたワークショップの設計と効果の分析、福祉のまちづくり研究講演集 9、25-27、2024 年 3 月
- (11) Tomoko Tamaari, Kojiro WATANABE, Yuno Arihiro and Kazuyoshi Kitaoka: A Study on Dialogue Design to make a Dementia-friendly Communities, The 10th International Forum on Advanced Technologies, 18-19, PS01, Tokushima, 2024 年 3 月
- (12) Zhang Qian, Kojiro WATANABE and Chen Min: Evaluation of urban flood resilience in Tokushima Area, The 10th International Forum on Advanced Technologies, 20-22, PS02, Tokushima, 2024 年 3 月
- (13) Takeshi BANDO and Kojiro WATANABE: A Study on the Relationship Between an Urban Vitality and Development and Improvement in Shikoku Region, The 10th International Forum on Advanced Technologies, 18-19, PS03, Tokushima, 2024 年 3 月
- (14) Midori OGATA and Kojiro WATANABE: A Study on the Actual Situation of Area Renovation in Downtown Area in Taichung city, The 10th International Forum on Advanced Technologies, 25-26, PS04, Tokushima, 2024 年 3 月

中西 敬

- (1) 中西 敬・上月 康則・大谷 壮介・服部 鋭治・糸谷 謙一・中野 忠行・平野 達司・河崎 尚弘・門 誠治・中藤 智徳：兵庫運河の人工干潟がつなぐ地域活動、日本沿岸域学会、2023 年 7 月 22 日
- (2) 大西 晶・湯浅 恭史・上月 康則・中西 敬・松重 摩耶：災害発生時における宿泊施設の活用事例とその課題に関する考察、土木学会安全問題討論会'23、2023 年 12 月
- (3) 上村 祐也・松下 紘資・古賀 雅大・杉村 翔・吉田 泰滋・磯野 誠勝・松井 菜穂・藤田 あかね・中西 敬：熊本県長洲町地先干潟のアサリ分布調査 -2022、2023-、土木学会西部支部研究発表会、2024 年 3 月 9 日
- (4) 緒方 大樹・松下 紘資・王 仁華・吉田 泰滋・磯野 誠勝・松井 菜穂・藤田 あかね・中西 敬：画像解析による干潟の点群データ作成の試み、土木学会西部支部研究発表会、2024 年 3 月 9 日

古川 恵太

- (1) 川辺 みどり・尾形 歌穂・片野 俊也・河野 博・小堀 信幸・小山 文大・鈴木 秀和・平野 晴野・

古川 恵太・本間 友・丸山 啓太：沿岸域教育実践における悩み－東京湾岸ミュージアム懇談会の談話から、日本沿岸域学会研究討論会、2023年7月

- (2) 難波 瑞穂・小杉 知佳・松山 為時・平中 陸・赤司 有三・古川 恵太：底質特性とベントス多様性の類似度比較による干潟造成用底質材の評価、日本沿岸域学会研究討論会、2023年7月
- (3) 山本 敦也・宮城 豊彦・馬場 繫幸・柳澤 英明・古川 恵太・成瀬 貫：LiDAR-SLAMによるマングローブ単木情報の推定と精度検証、2023年度日本マングローブ学会大会、2023年12月
- (4) 藤本 潔・古川 恵太・小野 賢二・渡辺 信・羽佐田 紘大：海面上昇下における群落レベルでのマングローブ立地変動とその規定要因の定量分析、2023年度日本マングローブ学会大会、2023年12月
- (5) 水谷 萌・藤本 潔・小野 賢二・渡辺 信・羽佐田 紘大・古川 恵太・木原 友美：マングローブ林の根系由来大型有機物の蓄積が地盤高上昇に及ぼす影響－西表島における地下部有機物含有率と生根・死根比重－、2023年度日本マングローブ学会大会、2023年12月

小串 重治

- (1) 竹村 紫苑・小串 重治・牧野 光琢：漁業関係者による特異現象の報告と共有の仕組み「FishGIS」、令和5年度資源海洋調査研究会講演集、123、2023年
- (2) Shion TAKEMURA・Shigeharu KOGUSHI・Mitsutaku MAKINO：Collection and utilization of fisheries and environmental information on small scale fisheries in Indonesia－A preliminary analysis to estimate fish body size using a smartphone app and AI, PICES 2023 Annual Meeting proceedings, 152-156
- (3) 二塚 香美・小串 重治・佐々木 真智・西田 貴明：市民科学データを用いた湿地性植物の生息適地モデル作成(Creation of suitable habitat models for wetland plants using citizen science data)、応用生態工学会2023年度第26回京都大会講演集、183

西田 貴明

- (1) 辻野 建貴・二塚 香美・植平 隆暉・多賀 洋輝・大庭 義也・西田 貴明：大学構内におけるスマートフォンを用いた生物モニタリング手法の検討、第33回日本景観生態学会大会（淡路市・兵庫県立淡路景観園芸学校）、ポスター発表、2023年5月27日
- (2) 西田 貴明：理系学部における社会連携教育プログラムの実践、大学教育学会第45回大会、吹田市・大阪大学、口頭発表、2023年6月4日
- (3) 二塚 香美・小串 重治・佐々木 真智・西田 貴明：市民科学データによる湿地生植物の生息適地推定、応用生態工学会第26回京都大会(宇治市・京都大学宇治キャンパス)、ポスター発表、2023年9月20日
- (4) 辻野 建貴・多賀 洋輝・大庭 義也・西田 貴明：学生主体で行うタブレット端末を用いたキャンパス内の生物・樹木モニタリング手法の開発・効果測定、応用生態工学会第26回京都大会(宇治市・京都大学宇治キャンパス)ポスター発表、2023年9月20日
- (5) 西田 貴明：グリーンインフラの地域実装と課題、関西支部 令和5年度 公開技術セミナー（一般社団法人 日本環境アセスメント協会）、大阪市、口頭発表、2023年10月13日
- (6) 西田 貴明：防災減災とグリーンインフラ、環境・都市等技術委員会・日本環境アセスメント協会

九州・沖縄支部共催セミナー「流域視点（山地～河川～海域）を踏まえた環境分野の取り組み（ライブ配信）」（一般社団法人建設コンサルタント協会九州支部）、オンライン、口頭発表、2023年12月6日

- (7) 植平 隆暉・西田 貴明・大庭 義也・多賀 洋輝・木田 幸男：仮設式雨庭の実装と効果検証、グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン 2024 全国大会（東京都江東区・東京ビッグサイト西ホール）ポスター発表、2024年2月20日
- (8) 竹下 明日香・西田 貴明：犬が公園緑地にもたらす社会的効果の評価と提案、グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン 2024 全国大会（東京都・東京ビッグサイト）、ポスター発表、2024年2月20～22日

大谷 壮介

- (1) 中西 敬・大谷 壮介・服部 鋭治・糸谷 健一・中野 忠行・平野 達司・河崎 尚弘・門 誠治・中藤 智徳・上月 康則：神戸港兵庫運河の人工干潟がつなぐ地域活動、2023年度日本沿岸域学会研究討論会、12-3、2023年
- (2) 中西 美桜・大西 孝征・大谷 壮介・酒井 孟・東 和之・上月 康則：河口干潟の物理的な底質環境と底生生物群集の変化、応用生態工学会第26回京都大会、PG-4、2023年
- (3) 大谷 壮介・中西 敬・上月 康則：市民科学的調査データを用いた大阪湾沿岸域の潮間帯生物相の分布、応用生態工学会第26回京都大会、PF-3、2023年
- (4) 古木 健太郎・大谷 壮介・東 和之・遠藤 徹：淀川汽水域の干潟および湿地帯における堆積物の有機炭素貯留量の試算、2023年度関西土木工学交流発表会、口頭VII-11、2023年

<環境研究部門／危機管理研究部門>

山中 亮一

- (1) 尾幡 厚志郎・山中 亮一・村瀬 智紀・原田 怜央菜・小川 翔・上月 康則・松重 摩耶・本橋 佑季・鮎川 和泰：尼崎運河における沿岸透明度の変動要因について、土木学会四国支部技術研究発表会、2023年5月27日、香川大学
- (2) 竹内 隆太郎・山中 亮一・原田 怜央菜・尾幡 厚志郎・村瀬 智紀・小川 翔・松重 摩耶・上月 康則・鮎川 和泰・大坪 真樹・本橋 佑季：尼崎運河での底質の変動特性とその要因について、土木学会四国支部技術研究発表会、2023年5月27日、香川大学
- (3) 松尾 優輝・上月 康則・本原 将吾・山中 亮一・村瀬 智紀・松重 摩耶・鮎川 和泰・大坪 真樹・赤崎 健一：尼崎運河での付着性二枚貝の鉛直分布と水質との関係について、土木学会四国支部技術研究発表会、2023年5月27日、香川大学
- (4) 小川 翔・山中 亮一・森田 椋也・高田 友美・鮎川 和泰・村瀬 智紀・原田 怜央菜・尾幡 厚志郎・本原 将吾・松重 摩耶・上月 康則：神山町水質浄化池の環境特性と維持管理方策について、土木学会四国支部技術研究発表会、2023年5月27日、香川大学
- (5) 吉原 祥・山中 亮一・中村 成・藤原 奈々・瀧野 萌・上月 康則・松重 摩耶・岩村 俊平：サンゴ北上に対する行政対応と社会意識について、土木学会四国支部技術研究発表会、2023年5月27日、香川大学

- (6) 北村 大翔・松重 摩耶・上月 康則・松家 茉莉子・山中 亮一・松尾 裕治：四国防災八十八話における復興に関する教訓の抽出と一考察、土木学会四国支部第 29 回技術研究発表会、2023 年 5 月、香川大学
- (7) 松家 茉莉子・上月 康則・河野 有咲・松重 摩耶・伊藤 健哉・井若 和久・堀井 秀知・山中 亮一：東日本大震災在宅被災者にみる教訓「あのとき、こうしていたら」について、土木学会四国支部第 29 回技術研究発表会、2023 年 5 月、香川大学
- (8) 坂東 尚吾・山中 亮一・桶川 博教・中川 頌将・瀧野 萌・松重 摩耶・上月 康則：2019 年台風 19 号による大里海岸での松林被害の発生過程について、土木学会四国支部第 29 回技術研究発表会、2023 年 5 月、香川大学
- (9) 本原 将吾・上月 康則・山中 亮一・赤崎 健一・松尾 優輝・福森 太一・中岡 禎雄・松重 摩耶：垂下式漁礁のヨシ下方へのハゼ科チチブの蝸集行動について、日本沿岸域学会、2023 年 7 月、新潟大学
- (10) 松家 茉莉子・上月 康則・松重 摩耶・河野 有咲・伊藤 健哉・井若 和久・堀井 秀知・山中 亮一：東日本大震災在宅被災者の生活再建に及ぼす危険区域指定の影響について、日本沿岸域学会、2023 年 7 月、新潟大学
- (11) 福森 太一・上月 康則・山中 亮一・松重 摩耶・本原 将吾・松尾 優輝・赤崎 健一・中岡 禎雄：ヨシ下方の空隙を有する魚礁周辺でのハゼ科チチブの行動について、瀬戸内海研究フォーラム、2023 年 8 月、山口大学
- (12) 上月 康則・河野 有咲・伊藤 健哉・松重 摩耶・松家 茉莉子・山中 亮一：東日本大震災後の連続災害と在宅被災者の生活再建困難との関係について、災害復興学会、2023 年 12 月、常葉大学
- (13) 山中 亮一・光原 弘幸・上月 康則・松重 摩耶・馬場 俊孝：VR インクルーシブ避難訓練システム構築に向けた取り組み、令和 5 年自然災害フォーラム、2023 年 12 月、かがわ国際会議場
- (14) 松重 摩耶・上月 康則・山中 亮一：海辺の環境教育と防災教育について、～豊かな瀬戸内海の実現に向けて～、環境教育学会関西支部、2024 年 2 月、和歌山県

<危機管理研究部門>

小川 宏樹

- (1) 三谷 真帆・白山 敦子・小川 宏樹・金井 純子：大きな床開口を有する伝統木造住宅への限界耐力計算法の適用検討、2023 年度日本建築学会四国支部研究報告集、第 23 号、pp. 23-24、高知工科大学(高知市)、2023 年 5 月 13 日
- (2) 蔵本 和泉・池田 壮志・白山 敦子・山下 忠道・小川 宏樹・金井 純子：積載荷重の偏在を考慮した免震建物の振じれ応答性状、2023 年度日本建築学会四国支部研究報告集、第 23 号、pp. 35-36、高知工科大学(高知市)、2023 年 5 月 13 日
- (3) 池田 壮志・白山 敦子・山下 忠道・小川 宏樹・金井 純子：昭和南海想定地震に対する基礎免震建物の累積吸収エネルギーに着目した研究、2023 年度日本建築学会四国支部研究報告集、第 23 号、pp. 37-38、高知工科大学(高知市)、2023 年 5 月 13 日
- (4) 扶川 巧真・金井 純子・白山 敦子・小川 宏樹：特別支援学校の災害リスク分析と被災事例からみた被害の特徴、2023 年度日本建築学会四国支部研究報告集、第 23 号、pp. 57-58、高知工科大

学(高知市)、2023年5月13日

- (5) 中村 雅彦・小川 宏樹・白山 敦子・金井 純子：新型コロナウイルス流行下における公立美術館の事業継続 四国の県立美術館の調査から、2023年度日本建築学会四国支部研究報告集、第23号、pp. 59-60、高知工科大学(高知市)、2023年5月13日
- (6) 花房 結太・金井 純子・白山 敦子・小川 宏樹：旅館・ホテルの空間・設備の特徴を活かした避難所の運営方法、2023年度日本建築学会四国支部研究報告集、第23号、pp. 87-88、高知工科大学(高知市)、2023年5月13日
- (7) 高井 瞭・金井 純子・白山 敦子・小川 宏樹・田村 隆雄：徳島市における避難支援マップの作成・活用に係る現状と課題～徳島市津田地区を対象として～、2023年度日本建築学会四国支部研究報告集、第23号、pp. 89-90、高知工科大学(高知市)、2023年5月13日
- (8) 中村 雅彦・小川 宏樹・白山 敦子・金井 純子：新型コロナウイルス流行下における公立図書館の事業継続、日本建築学会学術講演梗概集、2023年度大会(近畿)、建築計画、pp. 439-440、京都大学(京都市)、2023年9月13日
- (9) 小川 宏樹・白山 敦子・金井 純子：土地利用方針に即した公共施設の総合管理に関する研究、日本建築学会学術講演梗概集、2023年度大会(近畿)、都市計画、pp. 663-664、京都大学(京都市)、2023年9月15日
- (10) 狩野 尊弘・小川 宏樹・白山 敦子・金井 純子：デイビッド・シムのソフトシティ論における建築空間の特徴、日本建築学会学術講演梗概集、2023年度大会(近畿)、都市計画、pp. 1085-1086、京都大学(京都市)、2023年9月15日
- (11) 三谷 真帆・白山 敦子・小川 宏樹・金井 純子：階高が極端に低い伝統構法木造住宅における従来の限界耐力計算法に基づく新たな評価法の比較、日本建築学会学術講演梗概集、2023年度大会(近畿)、構造 III、pp. 1085-1086、京都大学(京都市)、2023年9月15日
- (12) Hiroki Ogawa: KOREA Urban Inovation International Seminar 2023, Urban Planning for Compactness Based on Elementary School Reorganization, 2023年10月26日, Iksan(Korea)
- (13) 花房 結太・金井 純子・小川 宏樹：応急補修後の旅館・ホテルにおける避難所運営と事業継続の課題、～令和2年7月豪雨人吉市の事例から～、2023年度日本建築学会四国支部研究報告集、第24号、pp. 57-58、香川大学(高松市)、2024年3月9日
- (14) 古賀 航成・小川 宏樹・金井 純子：子どもを介した地域のネットワーク化のための集合住宅の計画、2023年度日本建築学会四国支部研究報告集、第24号、pp. 77-78、香川大学(高松市)、2024年3月9日
- (15) 福地 海都・小川 宏樹・金井 純子：情報化社会における地方図書館の計画－複合化を踏まえた子ども図書館としての空間設計－、2023年度日本建築学会四国支部研究報告集、第24号、pp. 79-80、香川大学(高松市)、2024年3月9日

上月 康則

- (1) 北村 大翔・松重 摩耶・上月 康則・松家 茉莉子・山中 亮一・松尾 裕治：四国防災八十八話における復興に関する教訓の抽出と一考察、土木学会四国支部第29回技術研究発表会、2023年5月、香川大学

- (2) 松家 茉莉子・上月 康則・河野 有咲・松重 摩耶・伊藤 健哉・井若 和久・堀井 秀知・山中 亮一：東日本大震災在宅被災者にみる教訓「あのとき、こうしていたら」について、土木学会四国支部第 29 回技術研究発表会、2023 年 5 月、香川大学
- (3) 坂東 尚吾・山中 亮一・桶川 博教・中川 頌将・瀧野 萌・松重 摩耶・上月 康則：2019 年台風 19 号による大里海岸での松林被害の発生過程について、土木学会四国支部第 29 回技術研究発表会、2023 年 5 月、香川大学
- (4) 大西 晶・湯浅 恭史・中西 敬・松重 摩耶・上月 康則：全国の自然災害発生時における宿泊施設と行政との協定に関する資料調査、土木学会四国支部第 29 回技術研究発表会、2023 年 5 月、香川大学
- (5) 松家 茉莉子・上月 康則・松重 摩耶・河野 有咲・伊藤 健哉・井若 和久・堀井 秀知・山中 亮一：東日本大震災在宅被災者の生活再建に及ぼす危険区域指定の影響について、日本沿岸域学会、2023 年 7 月、新潟大学
- (6) 上月 康則・河野 有咲・伊藤 健哉・松重 摩耶・松家 茉莉子・山中 亮一：東日本大震災後の連続災害と在宅被災者の生活再建困難との関係について、災害復興学会、2023 年 12 月、常葉大学
- (7) 山中 亮一・光原 弘幸・上月 康則・松重 摩耶・馬場 俊孝：VR インクルーシブ避難訓練システム構築に向けた取り組み、令和 5 年自然災害フォーラム、2023 年 12 月、かがわ国際会議場
- (8) 湯浅 恭史・上月 康則・松重 摩耶・山瀬 浩幸・大森 理佐・山本 夏海：南海トラフ地震臨時情報ワークショップから考える大学での対応と課題、令和 5 年自然災害フォーラム、2023 年 12 月、かがわ国際会議場
- (9) 松家 茉莉子・上月 康則・伊藤 健哉（一般社団法人チーム王冠）・河野 有咲・松重 摩耶・井若 和久・堀井 秀知、山中 亮一：東日本大震災の在宅被災者における格差問題について、令和 5 年自然災害フォーラム、2023 年 12 月、かがわ国際会議場
- (10) 湯浅 恭史・上月 康則・松重 摩耶・山瀬 浩幸・大森 理佐：南海トラフ地震臨時情報が発表されたら徳島大学の教育は？！、第 19 回大学教育カンファレンス in 徳島、2023 年 12 月、徳島大学
- (11) 大西 晶・湯浅 恭史・上月 康則・中西 敬・松重 摩耶：災害発生時における宿泊施設の活用事例とその課題に関する考察、土木学会安全問題討論会' 23、2023 年 12 月、東京
- (12) 湯浅 恭史・宮地 武彦・蔣 景彩・上月 康則：令和 4 年台風 15 号による断水時の透析医療機関等の対応と今後の課題、土木学会安全問題討論会' 23、2023 年 12 月、東京

光原 弘幸

- (1) 市野 有朔・大江 海斗・光原 弘幸・獅々堀 正幹：“避難訓練 VR におけるリプレイ機能を用いた振り返り支援”、第 48 回教育システム情報学会全国大会講演論文集、pp. 85-86、2023 年 8 月 30 日
- (2) Kaito Oe, Yusaku Ichino, Hiroyuki Mitsuhashi, and Masami Shihibori: “Non-Player Characters for Evacuation Training in Metaverse: Preliminary Experiment”, Proc. of the 31st International Conference on Computers in Education / The 7th International Workshop on Information and Communication Technology for Disaster and Safety Education (ICTDSE), Vol. 2, pp. 271-280, Dec. 5, 2023

- (3) 大江 海斗・奥井 翔麻・市野 有朔・光原 弘幸・獅々堀 正幹：“メタバース内避難訓練 システムの開発”、教育システム情報学会研究報告、Vol. 38, No. 5、pp. 36-41、2024年1月20日
- (4) Hiroyuki Mitsuhara, Ryoichi Yamanaka, Maya Matsushige, and Yasunori Kozuki：“Reflection Support Function in a Metaverse-based Evacuation Training System”, 2024 9th International Conference on Business and Industrial Research, accepted

湯浅 恭史

- (1) 湯浅 恭史・中野 晋・金井 純子：徳島県内の社会福祉施設等へのBCP策定支援からみた災害対策の現状と課題、第52回地域安全学会研究発表会（春季）、2023年5月
- (2) 大西 晶・湯浅 恭史・中西 敬・松重 摩耶・上月 康則：全国の自然災害発生時における宿泊施設と行政との協定に関する資料調査、令和5年度四国支部技術研究発表会、2023年5月
- (3) 濱上 隆道・上月 康則・松重 摩耶・林 哲生・湯浅 恭史：徳島市内の商業施設と定期市「徳島びっくり日曜市」との店舗種構成の比較、令和5年度四国支部技術研究発表会、2023年5月
- (4) 湯浅 恭史・上月 康則・松重 摩耶・蔣 景彩・山中 亮一・山瀬 浩幸・大森 理佐：南海トラフ巨大地震を想定した大学の事業継続マネジメント（ABCP）のベストプラクティスの研究、徳島大学社会産業理工学研究交流会2023、2023年9月
- (5) 大西 晶・湯浅 恭史・上月 康則・中西 敬・松重 摩耶：災害発生時における宿泊施設の活用事例とその課題に関する考察、土木学会安全問題討論会‘23、2023年12月
- (6) 湯浅 恭史・宮地 武彦・蔣 景彩・上月 康則：令和4年台風15号による断水時の透析医療機関等の対応と今後の課題、土木学会安全問題討論会‘23、2023年12月
- (7) 湯浅 恭史・上月 康則・松重 摩耶・山瀬 浩幸・大森 理佐・山本 夏海：南海トラフ地震臨時情報ワークショップから考える大学での対応と課題、第18回南海地震四国地域学術シンポジウム、2023年12月
- (8) 湯浅 恭史：令和4年台風15号による断水被害からみた医療機関の事業継続、第29回日本災害医学会学術集会、2024年2月

金井 純子

- (1) 金井 純子・中野 晋：高齢者施設における豪雨時の避難のポイント、--- 令和4年8月豪雨で浸水した福島県喜多方市の高齢者施設の事例から ---、日本地域福祉学会第37回大会報告要旨集、254、2023年6月
- (2) 金井 純子：大学生の防災意識向上に向けた災害図上訓練DIGの教育効果、第42回日本自然災害学会学術講演会、2023年9月
- (3) 金井 純子・中野 晋・西村 実穂：令和4年8月豪雨による姥堂川の内水氾濫と高齢者施設における夜間避難の特徴令和5年度自然災害フォーラム&第18回南海地震四国地域学術シンポジウム、2023年12月
- (4) 金井 純子・中野 晋・蔣 景彩：令和5年7月豪雨で被災した高齢者施設における法人間連携の事例、第29回日本災害医学会学術集会抄録集、508、2024年2月

松重 摩耶

- (1) 北村 大翔・松重 摩耶・上月 康則・松家 茉莉子・山中 亮一・松尾 裕治：四国防災八十八話における復興に関する教訓の抽出と一考察、土木学会四国支部第 29 回技術研究発表会、2023 年 5 月、香川大学
- (2) 松家 茉莉子・上月 康則・河野 有咲・松重 摩耶・伊藤 健哉・井若 和久・堀井 秀知・山中 亮一：東日本大震災在宅被災者にみる教訓「あのとき、こうしていたら」について、土木学会四国支部第 29 回技術研究発表会、2023 年 5 月、香川大学
- (3) 坂東 尚吾・山中 亮一・桶川 博教・中川 頌将・瀧野 萌・松重 摩耶・上月 康則：2019 年台風 19 号による大里海岸での松林被害の発生過程について、土木学会四国支部第 29 回技術研究発表会、2023 年 5 月、香川大学
- (4) 大西 晶・湯浅 恭史・中西 敬・松重 摩耶・上月 康則：全国の自然災害発生時における宿泊施設と行政との協定に関する資料調査、土木学会四国支部第 29 回技術研究発表会、2023 年 5 月、香川大学
- (5) 松家 茉莉子・上月 康則・松重 摩耶・河野 有咲・伊藤 健哉・井若 和久・堀井 秀知・山中 亮一：東日本大震災在宅被災者の生活再建に及ぼす危険区域指定の影響について、日本沿岸域学会、2023 年 7 月、新潟大学
- (6) 上月 康則・河野 有咲・伊藤 健哉・松重 摩耶・松家 茉莉子・山中 亮一：東日本大震災後の連続災害と在宅被災者の生活再建困難との関係について、災害復興学会、2023 年 12 月、常葉大学
- (7) 山中 亮一・光原 弘幸・上月 康則・松重 摩耶・馬場 俊孝：VR インクルーシブ避難訓練システム構築に向けた取り組み、令和 5 年自然災害フォーラム、2023 年 12 月、かがわ国際会議場
- (8) 湯浅 恭史・上月 康則・松重 摩耶・山瀬 浩幸・大森 理佐・山本 夏海：南海トラフ地震臨時情報ワークショップから考える大学での対応と課題、令和 5 年自然災害フォーラム、2023 年 12 月、かがわ国際会議場
- (9) 松家 茉莉子・上月 康則・伊藤 健哉（一般社団法人チーム王冠）・河野 有咲・松重 摩耶・井若 和久・堀井 秀知・山中 亮一：東日本大震災の在宅被災者における格差問題について、令和 5 年自然災害フォーラム、2023 年 12 月、かがわ国際会議場
- (10) 湯浅 恭史・上月 康則・松重 摩耶・山瀬 浩幸・大森 理佐：南海トラフ地震臨時情報が発表されたら徳島大学の教育は？！、第 19 回大学教育カンファレンス in 徳島、2023 年 12 月、徳島大学
- (11) 大西 晶・湯浅 恭史・上月 康則・中西 敬・松重 摩耶：災害発生時における宿泊施設の活用事例とその課題に関する考察、土木学会安全問題討論会' 23、2023 年 12 月、東京
- (12) 松重 摩耶：「海辺の環境教育と防災教育」、関西環境教育学会、2024 年 2 月 24 日

中野 晋

- (1) 中野 晋・西村 実穂：令和 4 年の豪雨による保育施設の被災と保育再開、日本保育学会第 76 回大会、2023 年 5 月
- (2) 西村 実穂・中野 晋：令和 2 年 7 月豪雨により被災した認定こども園の復旧過程の特徴、日本保育学会第 76 回大会、2023 年 5 月
- (3) 中野 晋：徳島県内の保育所・こども園の災害環境と対策状況～保育施設訪問指導を通して～、令

和 5 年度土木学会四国支部技術研究発表会、2023 年 5 月

- (4) 中野 晋・金井 純子：自己チェックリストを活用した社会福祉施設の BCP 改善、日本地域福祉学会第 37 回大会長野大会、2023 年 6 月
- (5) 金井 純子・中野 晋：高齢者施設における豪雨時の避難のポイント～令和 4 年 8 月豪雨で浸水した福島県喜多方市の高齢者施設の事例から～、日本地域福祉学会第 37 回大会長野大会、2023 年 6 月
- (6) 金井 純子・中野 晋・北村 晃寿・樫本 誠一・西村 実穂：令和 4 年台風第 15 号による静岡市清水区の高齢者施設における浸水被害と夜間の緊急参集の課題、2023 年度河川技術に関するシンポジウム、2023 年 6 月
- (7) 中野 晋・蔣 景彩・白井 敦子・樫本 誠一：令和 5 年奥能登地震～地場産業と寺社の被害～、第 43 回土木学会地震工学研究発表会、2023 年 9 月
- (8) 蔣 景彩・中野 晋・白山 敦子・樫本 誠一：令和 5 年奥能登地震による地盤・土木構造物の被害、第 43 回土木学会地震工学研究発表会、2023 年 9 月
- (9) 中野 晋・金井 純子：令和 4 年台風第 15 号に伴う大雨による静岡市内公立学校の浸水被害と学校再開、日本安全教育学会第 24 回奈良大会、2023 年 9 月
- (10) 中野 晋・西村 実穂：令和 4 年 8 月豪雨による青森県鯉ヶ沢町の浸水被害と保育園の災害対応、令和 5 年度土木学会年次学術講演会、2023 年 9 月
- (11) 中野 晋・北村 晃寿：令和 4 年台風第 15 号による巴川流域の氾濫と河川整備による被害軽減効果、第 42 回日本自然災害学会学術講演会、2023 年 9 月
- (12) 西村 実穂・中野 晋：九州北部で発生した豪雨災害により被災した保育施設の避難と災害対応における課題、第 42 回日本自然災害学会学術講演会、2023 年 9 月
- (13) 中野 晋・蔣 景彩・金井 純子・西村 実穂・徳永 雅彦・樫本 誠一：内水氾濫被害発生時の避難情報発令の課題～令和 5 年秋田豪雨の事例から～、日本災害情報学会第 27 回大会、2023 年 10 月
- (14) 中野 晋：保育施設の安全管理能力向上に向けた防災訪問指導の実践、日本社会福祉マネジメント学会第 4 回大会、2023 年 11 月
- (15) 中野 晋・西村 実穂：令和 4 年 8 月 3 日からの大雨による新潟県荒川流域の浸水被害と保育施設の災害対応、令和 5 年度自然災害フォーラム&第 18 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2023 年 12 月
- (16) 金井 純子・中野 晋・西村 実穂：令和 4 年 8 月豪雨による姥堂川の内水氾濫と高齢者施設における夜間避難の特徴、令和 5 年度自然災害フォーラム&第 18 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2023 年 12 月
- (17) 西村 実穂・中野 晋：令和 4 年 8 月 3 日からの大雨による小松市内の保育施設での避難行動と保育継続、令和 5 年度自然災害フォーラム&第 18 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2023 年 12 月
- (18) 蔣 景彩・中野 晋・金井 純子・樫本 誠一：久留米市田主丸町竹野地区の土石流被害と土砂災害警戒区域の課題、令和 5 年度自然災害フォーラム&第 18 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2023 年 12 月
- (19) 土山 祐司・中野 晋・蔣 景彩・圓谷 政貴：ANN を用いた六角川流域浸水予測システムの構築、令和 5 年度自然災害フォーラム&第 18 回南海地震四国地域学術シンポジウム、2023 年 12 月

- (20) 中野 晋・西村 実穂：令和4年8月9日からの豪雨による青森県鯉ヶ沢町の保育園での避難行動と保育継続、土木学会安全問題討論会 '23、2023年12月
- (21) 中野 晋・湯浅 恭史・金井 純子・蔣 景彩：洪水浸水想定区域に立地する病院の事前対策と医療継続に関する事例分析、第29回日本災害医学会学術集会、2024年2月
- (22) 蔣 景彩・中野 晋・金井 純子：過去の事例から学ぶ事前浸水防止対策、第29回日本災害医学会学術集会、2024年2月
- (23) 金井 純子・中野 晋・蔣 景彩：令和5年7月豪雨で被災した高齢者施設における法人間連携の事例、第29回日本災害医学会学術集会、2024年2月

坂東 淳

- (1) 坂東 淳：四国の右下から次代に向けて、海洋科学の未来とレジリエンスサイエンスシンポジウム（高松市）、2023年7月21日
- (2) 坂東 淳：地方における人口減少の現実と災害復興、災害復興学会大会2023（静岡市）、2023年12月3日
- (3) 坂東 淳：参集困難時における医療従事者へり輸送の制度化に向けた検討 ～自衛隊機を用いた災害拠点病院勤務医師の輸送訓練を通じて～（ポスター発表）、第29回日本災害医学会・学術集会（京都市）、2024年2月23日

三上 卓

- (1) 林 佑亮・三上 卓・進藤 俊則・瀬島 義之・高荷 東：AI・ICT技術を活用した猛禽類調査、令和5年度建設コンサルタント業務研究発表会、林 佑亮、2023年9月12日

徳永 雅彦

- (1) 中野 晋・蔣 景彩・金井 純子・西村 実穂・徳永 雅彦・樫本 誠一：内水氾濫被害発生時の避難情報発令の課題 ～令和5年秋田豪雨の事例から～、日本災害情報学会第27回学会大会、2023年10月29日

6. 4 受賞・表彰（名前、授与機関名、受賞年月日 など）

1) 第44回熊日出版文化賞

西山 賢一、第44回熊日出版文化賞（熊本日日新聞社）、著書「熊本地震の痕跡からの学び（著者：熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター、分担執筆：西山賢一）、2023年3月

2) 令和4年度地盤工学会 出版賞

西山 賢一、令和4年度地盤工学会出版賞（公益社団法人地盤工学会）、著書「熊本地震の痕跡からの学び」（著者：熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター、分担執筆：西山賢一）、2023年6月

3) 令和5年防災功労者 防災担当大臣表彰

上月 康則、令和5年防災功労者防災担当大臣表彰、内閣府、2023年9月22日

4) 都市住宅学会賞・論説賞

小川 宏樹、公益社団法人都市住宅学会、都市住宅学会賞・論説賞、災害リスクから見た居住地の配置、2023年12月2日

5) 2023年度日本地震学会賞・技術開発賞

馬場 俊孝、公益社団法人日本地震学会、技術開発賞、高性能・多機能津波計算コード JAGURS の開発、2024年3月13日

6. 5 その他

<環境研究部門>

中西 敬

- (1) 熊本日日新聞「干潟保全の取り組み報告」報告会内容・写真掲載、2023年4月2日
- (2) 神戸新聞「未来を変える脱炭素への挑戦～海に異変 食文化存続の危機」コメント掲載、2023年4月3日
- (3) 有明新報「アサリ調査結果の報告」報告会内容・写真掲載、2023年4月4日
- (4) 水産経済新聞「イカナゴ資源を考える座談会」兵庫県イカナゴ謝恩実行委員会、2023年4月24日
- (5) MBS 4chanTV 特集「おさかな天国 変る兵庫運河」【映像・コメント放映】、2023年6月30日
- (6) Yahoo ニュース「水は真っ黒だった、汚染されていた運河を魚が住む場所に変える、地元の手で」【写真・コメント掲載】2023年7月3日
- (7) サンテレビ、北海道放送、神戸新聞、Yahoo ニュース「海と日本 ひょうご・おたる運河調査隊」【映像・コメント】2023年7～9月（複数回）
- (8) 水産庁ホームページ「第21回全国漁港漁場整備技術研究発表会」論文・発表資料掲 2023年12月15日
- (9) 漁港漁場月報「第21回全国漁港漁場整備技術研究発表会」講演内容記載 2023年12月15日

渡辺 公次郎

- (1) 渡辺 公次郎：福島原発災害後の福島県内における人口変化と復興計画の比較に関する研究、次の災害対策・復興を実現する 新・復興とは、2023年度日本建築学会大会（近畿）都市計画部門パネルディスカッション資料、pp. 37-40、2023年9月

西田 貴明

- (1) スマートなグリーンインフラの本格的な実装へ：DXによるグリーンインフラの社会実装へ，一般社団法人 Smart City Institute Japan，コラム，2023. 11. 23，<https://www.sci-japan.or.jp/sci_member/sci.cgi?c=siteView&sc=view&p=../sci_member/site/html/column/2023_column/21.html>
- (2) スマートなグリーンインフラの本格的な実装へ：自然環境データを活用したグリーンインフラの社会実装，一般社団法人 Smart City Institute Japan，コラム，2023. 11. 23，<https://www.sci-japan.or.jp/sci_member/sci.cgi?c=siteView&sc=view&p=../sci_member/site/html/column/2023_column/24.html>
- (3) スマートなグリーンインフラの本格的な実装へ：デジタル技術を活用したグリーンインフラの導入，一般社団法人 Smart City Institute Japan，コラム，2024. 1. 24，<https://www.sci-japan.or.jp/sci_member/sci.cgi?c=siteView&sc=view&p=../sci_member/site/html/column/2024_column/1.html>

<危機管理部門>

光原 弘幸

- (1) 7th International Workshop on ICT for Disaster and Safety Education (ICTDSE2023) 開催 (Organizer として)、松江市 (国際会議 ICCE2023 内)、2023年12月5日